

青木



# 私たち看板屋の未来

啓発事業委員長 青年部部长 鎌田 秀幸  
(株式会社サンコウゲイプラス)

私たち屋外広告に関わる看板屋業界の高齢化や人材不足の問題について少し考えてみました。

という職業を若い世代に知って頂く場面が大きく減った。という事に繋がると思います。

板屋に若者が集まらないのか。デザインはパソコンでデザインしSNSで発信する。

まずは高齢化の問題ですが、技術の進歩により手書き作業技術やステッカーのハンドカット技術、文字の切り抜き技術、彫刻技術など、これまで職人の方々が継承してきた技術が様々な機械の発展により自動化され、「看板屋の職人」の姿が大きく変わりました。

と言っても現代ではあり得ない昔の危険作業風景は目にする事が無くなり良かつたのですが(笑)もしかするとこの「目にする機会が減った」が人材不足に繋がるのでは?若者が看板屋という職業自体を知らないのでは?知っても「この仕事をしたくない」の発想までいきつかないのでは?

看板屋はパソコンでデザインし、それを型にして設置して人々に発信、SNSに発信する。

効率化やコスト面、看板そのものも大きく進化し、この進化はとても素晴らしいとお客様のご要望にも全て答えられる技術はとても素晴らしいと思います。しかし昔のように「看板屋が現場で直接壁に文字を書く」や「看板屋が直接ハンドメイドで看板をつくる」など昔は誰もが目にする光景が今はなかなか見る事ができない。という事は、昔は人々が当たり前に見ていた「看板屋」の仕事の光景を目にする機会が大きく減った。イコール「看板屋」

最大の問題で「誰もが目にする光景」を取り戻す事ができれば、私たちの業界は人材不足を少しは解消できるのでは?と考えました。

若者の選択肢に看板屋がないのが最大の問題で「誰もが目にする光景」を取り戻す事ができれば、私たちの業界は人材不足を少しは解消できるのでは?と考えました。

現代の看板屋の技術の流れはとて素晴らしく昔と今の看板屋の光景は違うものの、魅力のある職業には変わりはないはずなので、それにプラス昔のような「人に見られる光景」「看板屋の職人の技術が見られる光景」がもつと多くなれば、私たち看板屋には明るい未来が待っていると信じています。

若者の選択肢に看板屋がないのが最大の問題で「誰もが目にする光景」を取り戻す事ができれば、私たちの業界は人材不足を少しは解消できるのでは?と考えました。

現代の看板屋の技術の流れはとて素晴らしく昔と今の看板屋の光景は違うものの、魅力のある職業には変わりはないはずなので、それにプラス昔のような「人に見られる光景」「看板屋の職人の技術が見られる光景」がもつと多くなれば、私たち看板屋には明るい未来が待っていると信じています。



## MARUWA SHOKAI

スリーエムジャパン株式会社 特約加工販売店

株式会社 丸和商会

〒321-0921  
栃木県宇都宮市瑞穂 3-5-14  
TEL: 028-656-3611

東京・高崎・郡山・仙台・秋田・青森

http://www.maruwashokai.co.jp

～先端新規ビジネスへ その開発思想は果てしなく～

# 東北藤光株式会社

www.t-tohkoh.co.jp

●各種看板資材取扱店●

〒983-0025

宮城県仙台市宮城野区福田町南1丁目2-46

TEL:022-254-0611

FAX:022-254-0608